

平成 30 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 29 年 11 月 10 日

上場会社名 中央化学株式会社

上場取引所 東

コード番号 7895

URL <http://www.chuo-kagaku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 水野 和也

ビジネス・デベロップメント&

問合せ先責任者 (役職名) プランニング本部 経営企画部長 (氏名) 高濱 吉晃 TEL 048-540-2820

四半期報告書提出予定日 平成 29 年 11 月 13 日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成 30 年 3 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30 年 3 月期第 2 四半期	29,213	△0.1	△956	—	△927	—	△1,810	—
29 年 3 月期第 2 四半期	29,249	△4.5	152	△77.2	△354	—	△425	—

(注) 包括利益 30 年 3 月期第 2 四半期 △1,605 百万円 (—%) 29 年 3 月期第 2 四半期 △617 百万円 (—%)

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30 年 3 月期第 2 四半期	△89.85	—
29 年 3 月期第 2 四半期	△21.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30 年 3 月期第 2 四半期	45,463	6,466	14.2
29 年 3 月期	46,740	8,009	17.1

(参考) 自己資本 30 年 3 月期第 2 四半期 6,466 百万円 29 年 3 月期 8,009 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29 年 3 月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30 年 3 月期	—	0.00	—	—	—
30 年 3 月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 30 年 3 月期の連結業績予想 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	59,000	1.3	△1,100	—	△1,400	—	△2,400	—	△119.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	21,040,000株	29年3月期	21,040,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	891,140株	29年3月期	891,140株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	20,148,860株	29年3月期2Q	20,148,860株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、鉱工業生産が内外需要の好転により回復基調を鮮明とする中、個人消費においても、雇用所得環境の改善を背景に持ち直し、国内景気は着実な回復続けています。日銀は引き続き金融緩和政策を維持しており、原油価格の上昇も相俟って、国内物価は上昇に転じているものの「生鮮及びエネルギーを除く総合」においては、引き続き横ばいの状況が続いているなど物価の基調は引き続き弱い状況が続いております。

当食品包装容器業界と極めて関連性の深い一般消費財市場においては、依然として消費者の節約志向・低価格志向傾向はみられるものの、雇用環境の改善等に支えられ民間最終消費支出はプラス基調を鮮明にしております。

国内では、営業面において、8月にリニューアルが完了した関西プレゼンテーションセンターにおいて9月「AUTUMN FAIR」を開催し、当社が目指すトータルコーディネーションを提案、多くの方々にご来場いただきました。また、消費期限を延ばし食品廃棄・ロスの削減に貢献するロングライフ容器や超耐熱・高断熱・耐寒等の機能をもつ機能性素材容器等の高付加価値製品の開発・販売促進を進めました。一方で、夏場の天候不順による個人消費の不振等による汎用製品を中心とした販売数量が減少し、また、原料価格上昇に対する価格転嫁の遅れ等もあり、損益を悪化させる結果となりました。

生産面では、各地域での営業部と連携し地域独自の食文化に根ざした製品を小ロットで供給する体制を整え地産地消の一層の進展をはかっております。一方、労働需給逼迫等により当社製造現場においても人材確保の遅れから、一部の工場において生産効率の低下を余儀なくされました。

中国においては、中国の現地メーカーでの技術向上も見られるなか、食品容器関連市場は激戦となっておりますが、独自の素材を持ち、安全・安心な当社グループ製品に対する市場のハイエンド市場からのニーズは依然根強い状況にあります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が29,213百万円（前年同期比0.1%減）、営業損失956百万円（前年同期は152百万円の利益）、経常損失927百万円（前年同期は354百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損益は、固定資産減損損失804百万円等もあり1,810百万円の損失（前年同期は425百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び順資産の状況

(資産)

資産は、受取手形及び売掛金の増加1,196百万円があった一方、現金及び預金の減少568百万円や商品及び製品の減少443百万円、リース資産の減少363百万円、建物及び構築物の減少350百万円等により、前連結会計年度末に比べ1,276百万円減少し45,463百万円となりました。

(負債)

負債は、未払金の減少489百万円等があった一方、長期借入金の増加825百万円等により、前連結会計年度末に比べ265百万円増加し38,996百万円となりました。

(純資産)

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失1,810百万円等により、前連結会計年度末に比べ1,542百万円減少し6,466百万円となり、自己資本比率は14.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、4,011百万円となり前連結会計年度末に比べ570百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費1,483百万円等があった一方、売上債権の増加972百万円等があり、669百万円(前年同期比777百万円の減)の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得1,109百万円等があり、1,148百万円(前年同期比296百万円の減)の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金による収入2,000百万円等があった一方、長期借入金の返済1,177百万円やリース債務の返済826百万円、短期借入金の減少200百万円等により、203百万円(前年同期比368百万円の増)の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成29年5月10日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、平成29年11月8日公表の「特別損失の計上および業績予想(連結・個別)の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,588	4,019
受取手形及び売掛金	9,002	10,198
商品及び製品	5,992	5,548
仕掛品	824	837
原材料及び貯蔵品	1,282	1,410
繰延税金資産	2	8
その他	2,898	1,842
貸倒引当金	△24	△11
流動資産合計	24,566	23,854
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,315	5,964
機械装置及び運搬具(純額)	3,598	3,467
土地	4,484	4,387
リース資産(純額)	4,729	4,365
建設仮勘定	240	168
その他(純額)	807	791
有形固定資産合計	20,175	19,145
無形固定資産		
リース資産	39	34
その他	1,425	1,875
無形固定資産合計	1,465	1,910
投資その他の資産		
投資有価証券	266	270
長期貸付金	155	155
破産更生債権等	32	27
繰延税金資産	71	71
その他	231	248
貸倒引当金	△224	△220
投資その他の資産合計	532	553
固定資産合計	22,173	21,609
資産合計	46,740	45,463

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,584	11,059
短期借入金	5,000	4,800
1年内返済予定の長期借入金	6,407	6,404
リース債務	1,525	1,539
未払金	2,983	2,494
未払法人税等	118	80
未払消費税等	141	220
賞与引当金	178	247
海外事業等再編引当金	32	32
資産除去債務	11	11
その他	1,105	743
流動負債合計	28,087	27,631
固定負債		
長期借入金	5,528	6,353
リース債務	3,575	3,401
役員退職慰労引当金	45	52
退職給付に係る負債	1,269	1,202
債務保証損失引当金	13	13
資産除去債務	8	8
その他	204	334
固定負債合計	10,643	11,365
負債合計	38,731	38,996
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,212	6,212
資本剰余金	5,787	5,787
利益剰余金	△2,679	△4,426
自己株式	△1,169	△1,169
株主資本合計	8,151	6,404
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47	54
繰延ヘッジ損益	△4	1
為替換算調整勘定	546	639
退職給付に係る調整累計額	△731	△633
その他の包括利益累計額合計	△142	62
純資産合計	8,009	6,466
負債純資産合計	46,740	45,463

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	29,249	29,213
売上原価	22,243	23,266
売上総利益	7,006	5,946
販売費及び一般管理費	6,854	6,903
営業利益又は営業損失(△)	152	△956
営業外収益		
受取利息	7	9
受取配当金	4	4
受取賃貸料	24	25
補助金収入	10	—
為替差益	—	140
その他	94	69
営業外収益合計	141	249
営業外費用		
支払利息	118	126
売上割引	25	25
持分法による投資損失	51	22
為替差損	402	—
その他	50	45
営業外費用合計	647	219
経常損失(△)	△354	△927
特別利益		
固定資産売却益	2	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
固定資産除売却損	6	3
減損損失	—	804
災害損失	26	—
特別損失合計	32	807
税金等調整前四半期純損失(△)	△384	△1,734
法人税、住民税及び事業税	33	81
法人税等調整額	7	△6
法人税等合計	41	75
四半期純損失(△)	△425	△1,810
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△425	△1,810

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純損失(△)	△425	△1,810
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	6
繰延ヘッジ損益	0	5
為替換算調整勘定	△281	93
退職給付に係る調整額	94	98
その他の包括利益合計	△191	204
四半期包括利益	△617	△1,605
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△617	△1,605

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△384	△1,734
減価償却費	1,432	1,483
減損損失	—	804
持分法による投資損益(△は益)	51	22
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△11	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27	△17
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	27	31
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5	6
受取利息及び受取配当金	△11	△13
支払利息	118	126
為替差損益(△は益)	101	△45
有形固定資産除却損	6	3
有形固定資産売却損益(△は益)	△2	—
売上債権の増減額(△は増加)	△623	△972
たな卸資産の増減額(△は増加)	△100	385
仕入債務の増減額(△は減少)	732	221
未払消費税等の増減額(△は減少)	91	76
その他	219	480
小計	1,623	857
利息及び配当金の受取額	11	13
利息の支払額	△120	△126
法人税等の支払額	△67	△75
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,447	669
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△1,198	△1,109
固定資産の売却による収入	2	—
定期預金の預入による支出	△12	△12
定期預金の払戻による収入	12	10
投資有価証券の取得による支出	△5	△5
貸付けによる支出	△225	△10
貸付金の回収による収入	25	—
その他	△43	△21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,444	△1,148
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,000	△200
長期借入れによる収入	950	2,000
長期借入金の返済による支出	△1,011	△1,177
リース債務の返済による支出	△773	△826
財務活動によるキャッシュ・フロー	164	△203
現金及び現金同等物に係る換算差額	△224	71
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△56	△610
現金及び現金同等物の期首残高	4,205	4,582
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	39
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,149	4,011

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	26,276	2,972	29,249	—	29,249
セグメント間の内部売上高 又は振替高	43	527	571	△571	—
計	26,320	3,500	29,821	△571	29,249
セグメント利益	341	68	410	△258	152

(注) 1. セグメント利益の調整額△258百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	25,399	3,813	29,213	—	29,213
セグメント間の内部売上高 又は振替高	104	555	659	△659	—
計	25,504	4,368	29,873	△659	29,213
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△773	37	△736	△220	△956

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△220百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、収益性の低下により回収可能価額が帳簿価額を下回った資産グループについて帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては804百万円であります。